

PRESS RELEASE

2025 年 5 月 29 日
株式会社 ispace**ispace、円軌道到達に向けた軌道制御マヌーバを実施！（途中経過のお知らせ）**

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード 9348）は Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON”（以下ミッション 2）において、2025 年 5 月 28 日（水）午後 5 時 27 分（日本時間）に、円軌道到達に向けた軌道制御マヌーバを予定通り実施の上、当該マヌーバの結果が良好であることを確認いたしました。

この後、東京・日本橋にある HAKUTO-R ミッション・コントロール・センター（管制室）では、円軌道上で軌道調整が必要かどうかの確認を、数時間から最大数日かけて実施してまいります。その結果、追加の軌道修正が不要で、着陸シーケンスの開始準備が整ったと判断される場合には、遅滞なくミッション 2 マイルストーン Success 8 の完了を発表する予定です。仮に軌道調整が必要と判断される場合には、改めて追加の軌道制御マヌーバを実施した後、適切に発表してまいります。お待たせしておりますが、Success 8 の完了まで今しばらくお待ちください！

ミッション 2 の RESILIENCE ランダーは、2025 年 1 月 15 日（水）15 時 11 分（日本時間）に打ち上げられた SpaceX 社の Falcon9 によって所定の軌道に投入され、同日、午後 4 時 44 分（午前 7 時 44 分 24 秒 協定世界時）にロケットから分離されました。地球周回フェーズを経て 2025 年 2 月 15 日（土）午前 7 時 43 分（日本時間）には月表面から高度約 8,400 km の地点を通過し、民間企業による商業用の月着陸船としては史上初となる「月フライバイ」に成功。その後、低エネルギー遷移軌道上を約 2 カ月の長い期間をかけて、地球から最も離れた距離で約 110 万 km の地点まで到達しました。深宇宙の旅から帰ってきた RESILIENCE ランダーは、2025 年 5 月 7 日（水）午前 5 時 41 分（日本時間）に月周回軌道投入マヌーバに成功し、RESILIENCE ランダーの月周回軌道投入を完了しました。

■ Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON” 着陸応援会 ライブ配信

ispace は、日本、米国、ルクセンブルクの全拠点の従業員や家族、その他関係者の皆さまと共に、日本時間 2025 年 6 月 6 日（金）午前 4 時 24 分に予定しているミッション 2 の月面着陸を見守ります。その様子は、公式 YouTube にてリアルタイムにライブ配信する予定です。成功すれば、日本初、アジア初となる民間月面着陸を、ぜひ一緒に見届けましょう。

HAKUTO-R チャンネル（日本語）：<https://ispace-inc.com/chakuriku>

ispace チャンネル（英語）：<https://ispace-inc.com/landing>

■ 株式会社 ispace (<https://ispace-inc.com/jpn/>)について

「Expand our planet. Expand our future. ~人類の生活圏を宇宙に広げ、持続性のある世界へ~」をビジョンに掲げ、月面資源開発に取り組んでいる宇宙スタートアップ企業。日本、ルクセンブルク、アメリカの3拠点で活動し、現在約300名のスタッフが在籍。2010年に設立し、Google Lunar XPRIZEレースの最終選考に残った5チームのうちの1チームである「HAKUTO」を運営した。月への高頻度かつ低コストの輸送サービスを提供することを目的とした小型のランダー（月着陸船）と、月探査用のローバー（月面探査車）を開発。民間企業が月でビジネスを行うためのゲートウェイとなることを目指し、月市場への参入をサポートするための月データビジネスコンセプトの立ち上げも行う。2022年12月11日にはSpaceXのFalcon 9を使用し、同社初となるミッション1のランダーの打ち上げを完了。続くミッション2は2025年1月15日に打ち上げを完了し、最短2025年6月6日に、月面着陸へ再挑戦の予定。ミッション3（正式名称：Team Draper Commercial Mission 1）およびミッション4（旧ミッション6）は2027年に打ち上げを行う予定。

ミッション1の目的は、ランダーの設計および技術の検証と、月面輸送サービスと月面データサービスの提供という事業モデルの検証および強化であり、ミッション1マイルストーンの10段階の内Success8まで成功を収めることができ、Success9中においても、着陸シーケンス中のデータも含め月面着陸ミッションを実現する上での貴重なデータやノウハウなどを獲得することに成功。ミッション1で得られたデータやノウハウは、後続するミッション2へフィードバックされている。更にミッション3では、より精度を高めた月面輸送サービスの提供によってNASAが行う「アルテミス計画」にも貢献する計画。

■ HAKUTO-R (<https://ispace-inc.com/jpn/m1>)について

HAKUTO-Rは、ispaceが行うミッション1およびミッション2を総称する、民間月面探査プログラム。独自のランダー（月着陸船）とローバー（月面探査車）を開発して、月面着陸と月面探査の2回のミッションを行う。SpaceXのFalcon 9を使用し、2022年にミッション1（月面着陸ミッション）のランダーの打ち上げを完了。2025年1月15日にミッション2（月面探査ミッション）の打ち上げを完了し、最短2025年6月6日に、月面着陸へ再挑戦の予定。

オフィシャルパートナーである株式会社三井住友銀行により命名されたMission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON”には、新たな始まりやチャンスの意が込められている。

HAKUTO-Rはオフィシャルパートナーとして株式会社三井住友銀行、コーポレートパートナーとして、日本航空株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、日本特殊陶業株式会社、シチズン時計株式会社、スズキ株式会社、高砂熱学工業株式会社、SMBC日興証券株式会社、S k y株式会社、Epiroc AB、株式会社ジンズ、栗田工業株式会社が参加している。